

140シリーズ

取扱説明書

この度は140シリーズをご購入いただきありがとうございます
本機を安全に効率良くご使用いただくために、ご使用前に必ずよくお読みください
取扱説明書はいつでも利用できるような大切に保管してください

●仕様

型式	車体寸法(mm)			荷台寸法(mm)		使用車輪	最大積載荷重	自重
	全長	全幅	全高	全長	全幅	(mm)	(kg)	(kg)
140B	870	520	850	750	500	φ150	400	22.5
140C	970	620	850	850	600	φ150	400	27.5

●各部の名称



弊社ホームページにて
取扱説明書・図面を公開しています→



株式会社 神戸車輛製作所

安全上のご注意

操作方法を誤ると、重大な人身事故の恐れがあります



警告

取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています

- 最大積載荷重以上の荷物を積載しないで下さい
運搬車が壊れ、ケガをすることがあります
- 傾斜地で運搬車を使用しないで下さい
運搬車が暴走し、大事故になることがあります
- ハンドル(腰)の高さ以上に積み上げないで下さい
荷物が倒れ、ケガをすることがあります
- 移動時は、前後に人がいないことを確認して下さい
衝突事故になることがあります
- 台車の中央から荷物を積載して下さい
運搬車が転倒することがあります
- クレーン等での吊り上げはしないで下さい
破損したり運搬車が不安定になり危険です
- ハンドルを折り畳み時、必ず折り畳み解除レバーを踏んでからハンドルを倒して下さい
運搬車が破損することがあります
- 荷物が荷台よりはみ出したり、高く積み上げた状態で使用しないで下さい
運搬車が転倒することがあります
- 段差のある場所では使用しないで下さい
運搬車が転倒することがあります
- 荷台の上に衝撃を加える載せ方をしないで下さい
運搬車が壊れ、ケガをすることがあります
- 人や動物を絶対に乗せないで下さい
転倒し、ケガをすることがあります
- 本製品の分解や改造をしないで下さい
破損したり運搬車が不安定になり危険です
- 荷積みは偏らず均等に載せて下さい
運搬車が転倒することがあります



注意

取り扱いを誤った場合に、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています

- ボルトやネジがゆるんだまま使用しないで下さい
部品が外れてケガをすることがあります
- 高温・多湿、薬品がかかる環境で使用しないで下さい
運搬車が壊れ、ケガをすることがあります
- ハンドル以外を押して移動しないで下さい
荷物が倒れたり、突起物でケガをすることがあります
- ぬれたものを置かないで下さい
製品が腐食し、倒壊するおそれがあります
- 屋外や水のかかる場所に使用しないで下さい
製品が腐食し、倒壊するおそれがあります
- ブレーキをかけた状態で無理に台車を動かさないで下さい
ブレーキの破損につながり危険です

点検

安全と性能の維持のために始業時及び、定期(月次/年次)に点検を実施して下さい

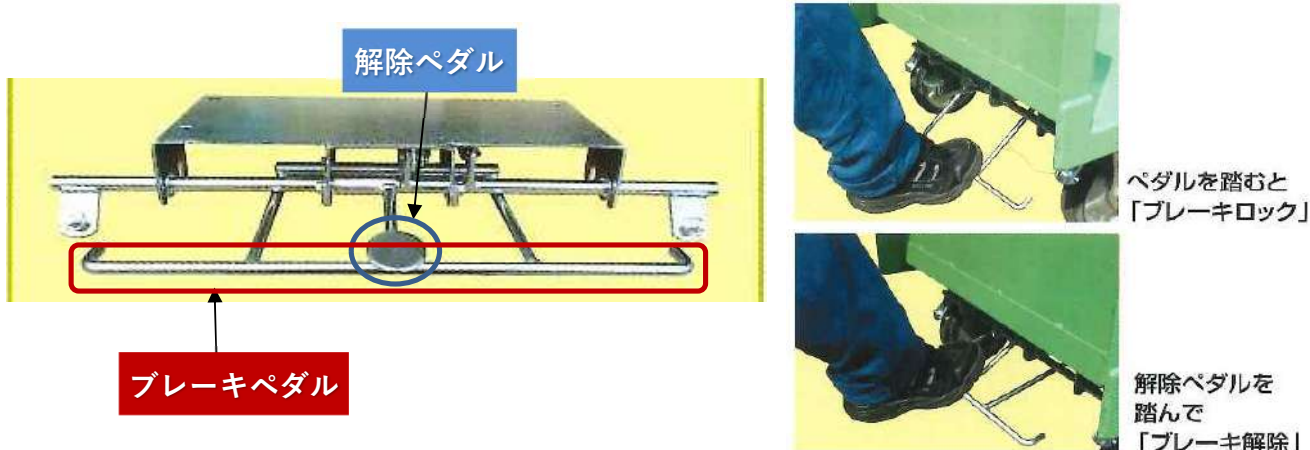
項目	方法
フレーム(各部品)に歪み、異音、亀裂、溶接の剥離はないか	目視、聴覚
ボルト、ナットの緩み破損はないか	目視、指触
車輪の回転時異音はないか	聴覚
車輪のゴムに傷や剥離、異常磨耗はないか	目視
ブレーキ等の破損又は変形はないか	目視
ブレーキの効きに異常はないか	動作
シール等の剥がれはないか	目視
回転ヒンジ部分に破損はないか	目視、指触
緩衝ゴムに破損はないか	目視、指触

※異常があった場合は直ちに使用を中止し、修理依頼は取扱店へご依頼下さい

オプションフットブレーキ

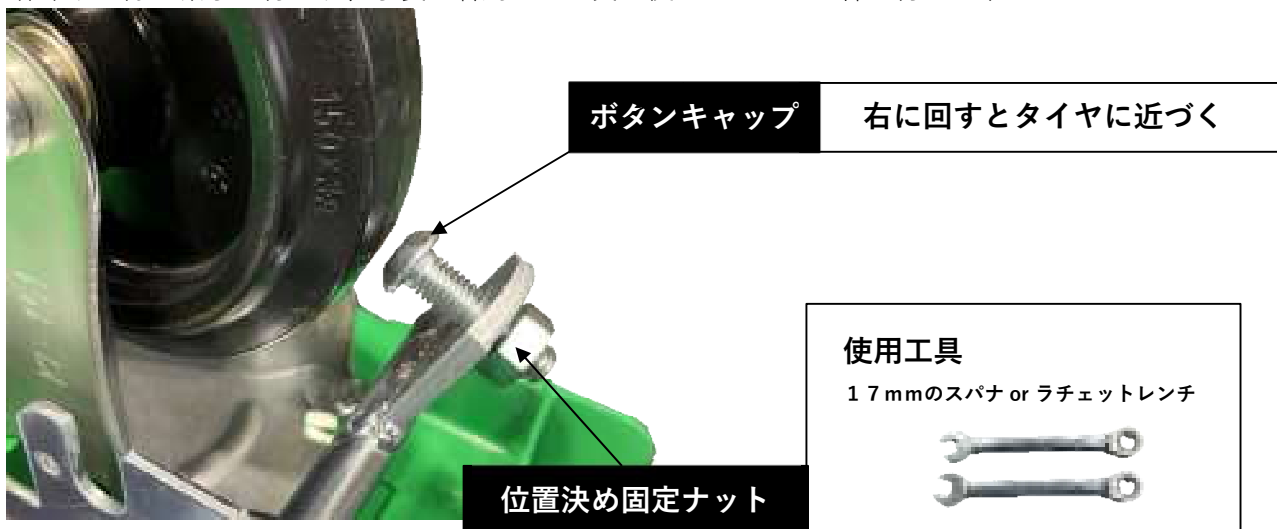
取扱方法

長いバーがブレーキペダル、丸いペダルが解除ペダルとなっております
ブレーキロックをかける場合は、ブレーキペダルをしっかりロックするまで踏み込んで下さい
解除する場合は解除ペダルを踏んでブレーキを解除して下さい



調整方法（ブレーキの効きが弱いと感じたら）

ブレーキ位置は出荷時に調整しておりますが、キャスターの組付位置により若干効きが弱い場合があります
作業する際は素手で行わず、手袋を着用して工具を使いしっかりと締め付けて下さい



※画像は緩めた状態です

【手順】

- 1 ブレーキを解除状態にします
- 2 位置決め固定ナットを緩めます
- 3 ボタンキャップを右に回し、タイヤの方向へ近づけます
- 4 ボタンキャップを半回転ずつ回し、その都度ブレーキの効きを確認してください
- 5 ブレーキをかけた時は車輪を手で回しても動かず、ブレーキを解除したときはボタンキャップにタイヤが触れない状態になったら位置決め固定ナットを締め、作業は完了です

オプションフットブレーキ【組付方法】

ブレーキは後から単品でご購入いただき、組付可能なオプションです

組付だけでブレーキが効く設定で出荷をしておりますが、組付後はブレーキの効きを必ず確認して下さい

作業する際は素手で行わず、手袋を着用して工具を使いしっかりと締め付けて下さい

【セット内容】

●本体ユニット 1台



●部品 各4個



・ボルト
・スプリングワッシャー
・ナット

【手順】



←組付方法の動画を公開しています

違うシリーズの製品ですが方法は全く同じとなります

本体裏側



自在キャスター

- ① 本体を裏返します
ブレーキ無しでご購入いただいた製品は、後輪(ハンドル側)に自在キャスターがついています

※車体重量は約25～57kgほどございます
十分に注意して作業下さい

本体裏側



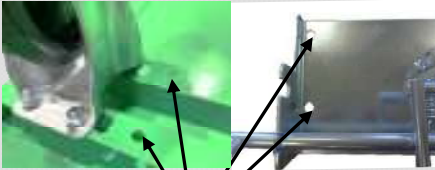
固定キャスター

- ② フットブレーキを取り付ける前に前輪と後輪のキャスターを入れ替え、後輪に固定キャスターをつけます

※自在キャスター側にフットブレーキを組付することはできません

車体

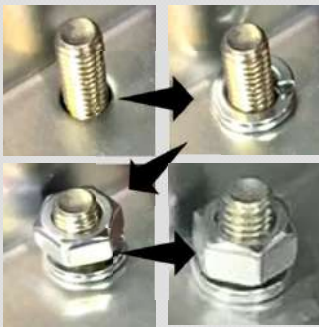
ユニット



取付穴

- ③ 本体側の取付穴とユニット側の取付穴を合わせ
同梱されている部品を組み付けます

※本体側取付穴は長穴ではなく正円です



- ④ 本体の下からボルトを差し込み、スプリングワッシャーと
ナットで上から固定します
作業する際は、工具を使いしっかりと締め付けてください

使用工具

17mmのスパナ or ラチェットレンチ



ボタンキャップ



位置決め固定ナット

- ⑤ ブレーキの効きを調整します
ブレーキ解除状態で位置決め固定ナットを緩めボタンキャップを
右へ半回転ずつ回しブレーキの効きを確認しながらタイヤに
近付けます
ブレーキをかけた時は車輪を手で回しても動かず、
ブレーキを解除したときはボタンキャップにタイヤが触れない
状態になったら位置決め固定ナットを締めます



- ⑥ 組付完成后、締め忘れが無いか・ブレーキの効きは適正かを
再度確認し作業は完了です



株式
会社

神戸車輛製作所

本社・工場

〒135-0013 東京都江東区千田17-13

TEL 03-3649-2131 FAX 03-3649-2136

E-Mail:kanbe@bz01.plala.or.jp

<http://business4.plala.or.jp/kanbe/>

●本製品の各仕様は改良のため予告なく変更することがあります